



第13回北坂戸ファミリークリニック 地域連携セミナー

2021年3月17日に第13回となります、地域連携セミナーを開催いたしました。新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みて、前回同様にウェブ配信という形で講演させていただきました。ご協力いただきましたノバルティスファーマ株式会社にはこの場をお借りし感謝申し上げます。

また、今回は講演に加え、グループワークをウェブ上で実施いたしました。初の試みで少し不安でしたが、無事にグループワークも行うことができ、各グループの発表も滞りなく終えることができました。

さて、今回は前回に引き続き事例報告会といたしまして、

『在宅医療における

終末期の訪問リハビリテーションの必要性について』

というテーマでお話しさせていただきました。

- ・ケアプランちゃお ケアマネジャー 安谷屋 雅子 様
- ・しあわせ生活 北坂戸訪問看護ステーション 理学療法士 浦川 奈央 様
- ・当院 院長 野口哲先生

3名の方にご参加いただき、終末期患者様に訪問リハビリテーションが介入したことで、ADLの向上、QOLの向上により、ご本人、ご家族が良い最期をお迎えすることができた症例の発表をさせていただきました。

グループワークでは、【終末期の患者さんとのかかわる際の工夫】【終末期におけるリハビリテーションの必要性】【医師-看護師-リハビリスタッフとの情報連携における工夫】というテーマで話し合いをしていただきました。

限られた時間の中で多くのご意見がそれぞれのグループから発表され、とても有意義な時間だったと思います。

コロナ禍で、顔と顔を合わせるということができない状況で、今回のようにウェブ上でグループワークができたということはとても嬉しく思います。

今回発表した事例の概要

- ・予後数ヶ月の患者様で、退院後から早期に訪問リハビリが介入
- ・退院時は、立位、移乗も一人では困難だった患者様が、リハビリを行い、一人で移乗や排せつ、家族の介助での入浴、外出ができるようになった。
- ・日々の訪問診療、看護、リハビリ、ケアマネとの情報共有により必要な福祉用具やサービスが早期に準備できた。
- ・お看取り後に、キーパーソンから満足のいく最期を迎えられたと感謝の言葉をいただいた。

講演時の様子（リモートによる講演）



講演を終えて～理学療法士 浦川奈央さん～

今回は「在宅医療における終末期の訪問リハビリテーションの必要性について」というテーマで、医師、ケアマネジャー、リハビリ専門職とそれぞれの立場から公演いたしました。

それぞれの専門性を生かした関わり、多職種連携について考える良い機会となりました。また、アプローチの仕方はそれぞれの立場で違っても、利用者様、ご家族様への思いや、方向性は一緒だと再認識しました。

終末期の訪問リハビリテーションは、一般的に認知度は低いことが現状です。「終末期にリハビリテーションをやって良かった」、「また利用したい。」と皆さんに感じて頂けるようなサービスが提供できるよう努力していきたいです。

次回の地域連携セミナーはウェブ形式で2021年8月頃を予定しております。詳細が決まり次第ご案内させていただきます。

次回の参加も何卒よろしくお願い申し上げます。

最後までお読みいただきまして、ありがとうございました。

また、今後の要望等ございましたら、下記連絡先に電話又はFAX等でご連絡ください。

地域の相談窓口として、セミナーへの要望・業務での疑問でも結構ですので、お気軽にご連絡ください。

北坂戸ファミリークリニック 〒350-0229 埼玉県坂戸市薬師町3-2 TEL:049-280-8080 FAX:049-210-3812